

平成 26 年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会

平成 26 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績
検討会は、平成 27 年 6 月 9 日(火)にホテルラングウッド
において開催された。

この検討会には、試験場関係者 19 名、委託関係者 16
名ほか、計 47 名の参集を得て、除草剤 1 薬剤 (3 点)、

生育調節剤 6 薬剤(34 点)について、試験成績の報告と検
討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表
に示す通りである。

平成 26 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注)アンダーラインは新たに判定された部分を示す

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. HCW-201 フロアブル DCMU:50% [*保土谷UPL, 北興化学工業]	パイナップル	植付後雑草発生前処理	実・ <u>継</u>	実) [パイナップル:一年生雑草] ・植付後、雑草発生前 ・150~200mL<100~200L>/10a ・土壌処理 継) ・多年生広葉雑草に対する除草効果の確認

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. AKD-8147 水溶 1-ナフタレン酢酸ナト リウム:22% [アグロカネショウ]	カンキツ(不知火)	「不知火」に対する摘果効果の 確認	実・ <u>継</u>	実) [カンキツ(温州ミカンを除く);摘果] ・生理落果盛期(満開10~20日後) ・1000倍 十分量 ・立木全面散布あるいは枝別散布 ・効果の確認された品種: 天草, 伊予柑, 清見, せとか, はるみ [清見, 湘南ゴールド, <u>不知火</u> , せとか;摘 果] ・生理落果盛期(満開20~50日後) ・1000倍 十分量 ・立木全面散布あるいは枝別散布 継) ・満開20~50日後での効果, 薬害の確認 (甘夏, 伊予柑, はるみ, 天草, <u>不知火</u> , <u>ぼ んかん</u>) ・1500倍での効果, 薬害の確認 ・満開10~20日後での効果, 薬害の確認(た まみ, 不知火, ぼんかん)
	カンキツ (ぼんかん)	「ぼんかん」に対する摘果効果 の確認		
2. イソプロチオラン 乳 イソプロチオラ ン:40.0% [日本農薬]	温州ミカン	極早生又は早生品種での着色 促進	実・ <u>継</u>	実) [温州ミカン;着色促進] ・収穫20~30日前 ・2000~3000倍 ・立木全面散布あるいは枝別散布 継) ・4000倍での効果, 薬害の確認
		倍量薬害		

B. 生育調節剤 (つづき)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
3. ジベレリン 水溶 ジベレリン:3.1% [ジベレリン研究会 *協和発酵バイオ Meiji Seikaファルマ 住友化学]	スダチ	ジベレリンの薬量低減による 果皮の緑色維持	実・継	実) [カンキツ;果皮の緑色維持] ・収穫予定7~30日前 ・10~50ppm ・散布(果実表面に十分付着するよう) ・効果の確認された品種:カボス,スダチ, 長門ユズキチ,へべス,レモン [スダチ;果皮の緑色維持] ・収穫予定7日前 ・5~10ppm ・散布(果実表面に十分付着するよう) 継) ・へべスに対する効果,薬害についての年 次変動の確認。 ・ スダチにおける低薬量(2.5~5.0ppm)で の効果,薬害の確認。 ・スダチにおける収穫予定14日前,30日前 での効果,薬害の確認(5ppm)。
4. ジベレリン 水溶/PDJ 液 ジベレリン:3.1% PDJ:5% [長崎県農林技術開発セ ンター]	温州ミカン	着色8~9分時散布によるクラ ッキング防止	継	[温州ミカン;クラッキング防止] 継) ・効果,薬害の確認
5. ジベレリン 水溶 /ホルクロールフェニユ ロン 液 ジベレリン:3.1% ホルクロールフェニユ ロン:0.1% [長崎県農林技術開発セ ンター]	ビワ(麗月)	着果安定および果実肥大促進	継	[着果安定および果実肥大] 継) ・効果,薬害の確認
6. ジベレリン 水溶/マ シン油 乳 ジベレリン:3.1% マシン油:97% [協和発酵バイオ]	温州ミカン カンキツ(不知火) カンキツ(せとみ) カンキツ(はるみ) カンキツ(ぼんか ん) カンキツ(みはや) カンキツ(ゆず) カンキツ(麗紅)	花芽抑制による樹勢維持(マシ ン油との混用使用により更なる 薬量低減)	実・継	実) [温州ミカン;花芽抑制による樹勢の維持] ・ 1月(但し,収穫約2ヶ月後)収穫直後~2ヶ 月後(但し,11~1月) ・ジベレリン2.5ppm+マシン油60~80倍 十分量 ・立木全面または枝別散布 [不知火;花芽抑制による樹勢の維持] ・収穫直後~2ヶ月後(但し,1~3月) ・ジベレリン2.5ppm+マシン油60~80倍 十分 量 ・立木全面または枝別散布 注) ・マシン油の使用上の注意に準ずる 継) ・ 11月処理での効果,薬害の確認 ・ジベレリン5ppmでの効果,薬害の確認(温 州ミカン) ・せとみ,はるみ,ぼんかん,みはや,ゆず, 麗紅での効果,薬害の確認